

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

大軍拡でなく外交で平和を 物価高騰から暮らしまもれ 給料アップ大企業の責任で



参議院選挙の比例代表で、元香川県議会議員の白川容子氏が初めての当選を果たしました。白川氏は、徳島県出身の59歳。2003年から香川県議

「命の声」届け政治を変える 白川容子氏初当選―参議院選挙

参議院選挙の比例代表で、元香川県議会議員の白川容子氏が初めての当選を果たしました。白川氏は、徳島県出身の59歳。2003年から香川県議



決意表明する亀谷氏と日本共産党島根県委員会常任委員ら

参議院選挙の結果について

7月20日投票の参議院選挙では、日本共産党は3議席を獲得しました。東京選挙区の吉良よし子氏（現）、比例で小池晃氏（現）、そして白川よう子氏の2議席です。島根の日本共産党比例票は15,183票（得票率4.84%）でした。みなさんのご支援で、白川よう子候補を西日本17県で支援戴き議席を得ることができました。目標の比例5議席の獲得には至りませんでした。昨年来の私たちの奮闘で、自民党・公明党が参議院でも少数となりました。

今回の参院選では、外国人を差別し、憎悪を煽る排外主義を許していいのかが大きな問題になりました。日本共産党は、自民政治の延命に手を貸す勢力や排外主義の潮流に対し、すべての世代の利益に立った論陣を張ってたたかいた。国民との新しい連帯を広げました。また、「物価高騰から暮らしをどう守るのか」も問われ、「消費税5%緊急減税」「大軍拡でなく、外交で平和的な解決策を示してたたかいました。

抱負を語る白川容子氏

進む基地強化や暮らしの現場に足を運びました。白川氏は「不屈に戦う沖縄のみなさん、人手不足や経営難で『このままでは廃業する』と悲鳴をあげる病

院や介護事業所や『お米が高くおかわり禁止に』と要求アンケートに答えた広島の小学生的の話が胸に刺さって離れません。「命の声」を国会に届けるのが仕事です」と語りました。また、「女性の声が政治に反映されない社会のままがいいのか」と政見放送で少子化対策として出産を前提とした婚活などに疑問を呈しました。「各地で熱い期待を感じた。やはり日本共産党の女性議員が必要だと押し上げて戴いたと思う。医療現場出身者としてまずケア労働者の待遇を改善したい。選択的夫婦別姓、同性婚など押し込められてきた女性やマイノリティーの願いを実現したい」と抱負を語りました。

国民平和 松江市役所を訪問

国民平和と大行進が7月22日に松江市に入りました。今年尾崎美さんを通して行進として迎え、原水爆禁止島根県協議会事務局の西村容子さん、徳永和洋事務局長らが松江市役所を訪れ、松江市議団が同席しました。

「原発稼働ストップ」など公約実現へ全力でがんばります。宣伝には、上代善雄県委員長、尾村利成、大国陽介の両県議、たちばなふみ松江市議団長、佐野みどり、樋野伸一両市議、村穂江利子県副委員長らが参加しました。

尾崎氏は「両親、祖父母、兄が被爆。被爆2世として核兵器廃絶の運動に関わってきました。退職し、今回初めて通し行進者に。二度と核兵器の使用がされないよう訴え続けたい」と語りました。徳永氏は「今年には被爆80年、平和首長会議が日本政府に対し日本は核兵器禁止条約に参加すべきと要請した。松江市も平和首長会議に加盟しており、



通し行進尾崎氏と訪問団、中岡次長、松浦係長と市議団



松江駅前集会参加の皆さん